

## 高丘捷佑

曹洞宗僧侶。愛知県生まれ。大正大学人間学部仏教学科卒。仏教情報センター・テレフォン相談員。現在は島根県松江市・善慶寺に在籍。ドイツでの遊学を通して見た、ホスピスや社会事業による看取りを参考に、現代日本で僧侶として人の生死に直接関わる活動を模索している。



事情があつて実家だったお寺は離れましたが、今は、全国各地で用僧や法話で呼んで頂いています。

それぞれを描くこれから

飯島▼みなさんそれぞれにご活躍なされていますが、その背景にはどんな目的をお持ちなのでしょうか？

緑川▼僧院で、人々が日常生活の雑音から一時離れて、修行だけに集中する場所を作っているのを目の当たりにし、私は日常生活の中でこそ、仏教の智慧を生かすことが大切だと思つています。それで、今年は、道場をお借りして「女性のための仏教ブチ修行」という会を二泊二日で行いました。僧侶でなくても仏教を実践的に体験できる場を提供したいとの思いでした。この試みは年二回のペースで続けてゆく予定です。

三須▼日常の悩みをもつ人を、信仰生活や教団組織に誘うよりも、人生の考え方や選択肢の一

つとして仏教を知ってもらえたら、と思つています。何を選ぶかは人それぞれですが、人生の選択の幅が広いだけで、それは強みだから。私は文章表現が苦手なので、絵などの作品を使つて「仏教にはこんな可愛いものもある」とつていうことを表現・発信しています。

市橋▼仏教と縁遠い人々に、仏教を身近に感じて欲しいですね。諸々の問題を解決し得る手段が、仏教の中に如何にたくさんあるかを伝えたいです。『よみうりカルチャー』で担当している講座では、仏教を「軽く」話しています。私、檀務より布教が好きで、専ら檀務はうちの男二人（父と夫）に任せてます（笑）。

飯島▼市橋さんの結婚相手はお坊さんですよ？

市橋▼布教活動の仲間として出会ったので、向いている方向が一緒。お互いに理解ある「同志」みたいなものです。

飯島▼真言宗には女性の僧侶は少ないのですか？

市橋▼最近は増えてきました。進んで僧侶になった人もいれば、跡取りで仕方なく、という人もいます。私は、僧侶としてこれぐらいしか出来ることはない、と思つて剃髪しているけれど、長髪を束ねて式衣をつけ、法務をこなしている人もたくさんいます。

緑川▼人は些末な部分を取り上げて非難するし、そういうところで「だから女は…」となりがちですよ。

未だ、曖昧な存在？

緑川▼天台宗では在家出身の女性が活動する場は限られていますが、ずっと活動を続けてゆける人はとても少ないです。先行きが不安ということもあると思います。尼僧団もありますが、入れるお寺も無いのが実情です。市橋▼豊山派にも尼僧団はありませんが、声が高くて読があるとするれば、

## 飯島恵道

長野県松本生まれ。尼寺育ち。看護師としての経験を生かし、医療と宗教の領域を横断する「あまんず (amans=ama (尼) + ns (ナース、看護師))」として活動中。



経の頭出しに当ててもらえない、などの物理的なことですね。条件によつては当てはまらない人もいます。本山に女子トイレや浴場さえ完備してもらえれば、私自身は性差別を感じません。

高丘▼他の宗派と違って、私たちは両本山での修行が認められない。これは宗侶としては大変辛いことです。

三須▼私は、得度はしましたが、僧侶でもなくへ僧侶としての法務・檀務の実態がなく一般人もない。現状では僧侶として具体的に進むべき道が見えません。私はお坊さんなのか一般の人なのか…。自分の立場をはっきりさせられないという悩みがありますね。

へ内、編集部注 文中、一部敬称略。

## 三須励法

東京都生まれ。2000年に得度。駒沢学園女子中学校から駒沢学園女子高等学校へと進み、駒沢大学仏教学部禅学科卒。2006年から作家活動を開始。アートを通して親しみやすくポップな仏教を目指し、仏教の入り口を広げようとしている。